

第62回 沖縄県中学校剣道競技大会要項

- 1 主 催 沖縄県中学校体育連盟 沖縄県教育委員会
- 2 共 催 那覇市教育委員会
- 3 後 援 沖縄県中学校教育委員会連合会 沖縄県中学校長会 (公財) 沖縄県体育協会
沖縄県剣道連盟
- 4 期 日 平成29年7月22日(土)～23日(日)
- 5 日 程 平成29年7月22日(土) 監督会議 8:30
(※練習時間 7:30～8:15) 審判会議 8:45
開始式 9:15
競技開始 9:45
23日(日) 監督会議 8:30
(※練習時間 7:30～8:15) 審判会議 8:45
開始式 9:15
競技開始 9:45
閉会式 競技終了後
- 6 会 場 『沖縄県立武道館アリーナ』
- 7 申込締切日 各地区中体連の締切日を厳守すること。
(国頭6/13、中頭6/14、那覇6/15、島尻6/14、宮古6/19、八重山6/9)
- 8 申込方法 県中体連ホームページから大会参加申込用紙をダウンロードし必要事項を入力し、プリントアウトしたものに捺印を受け、各地区専門部長から地区中体連事務局を通じ、一括して県中体連事務局まで申し込むこと。
- 9 企画運営責任者 県中体連剣道専門部
◎伊佐 直己(城北) ○仲間 大輔(伊良波) ○我喜屋 丈(浦添)
金城 善章(羽地) 平良 祐輔(上山) 白石 珠美(嘉手納)
與世原朝史(石田) 友利 浩介(昭葉附) 杉谷 綾乃(糸満)
徳嶺 浩明(北) 幸地 忍(石垣第二) 神山 義治(具志川東)
- 10 参加資格 (1)地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチーム・個人とする。
但し、地区大会が開催されない地区は、当該中学校の校長が許可し、地区中体連会長の推薦を得たチーム・個人とする。
(2)選手の引率は出場校の校長・教員とする。監督等は出場校の校長・教職員(常勤)とする。教職員以外のコーチについては、学校長の認めた者で地区県に登録された者とする。(敷紮可)但し、ベンチ入りについては1名のみとする。
(3)九州・全国大会への代表権を獲得した場合は県代表としての自覚と責任を持ち、県中体連の計画および指導を遵守し、九州大会・全国大会へ参加できる学校であること。
- 11 参加制限 (1)団体戦
①男子・・・中頭9・那覇9 国頭4・島尻4 宮古2・八重山2
②女子・・・中頭6・那覇9 国頭4・島尻4 宮古2・八重山2
③選手5人、補員3人、マネージャー1人、監督およびコーチの計11人とする。
④団体戦は3人以上いればチームとして成立する。
3人の場合、次鋒・副将をあける。4人の場合、次鋒をあける。
(2)個人戦
①男子・・・中頭・那覇 各8名 国頭・島尻 各6名
宮古・八重山各4名
②女子・・・男子に同じ

- 12 参 加 料 参加選手一人につき500円とする。申込みと同時に納入すること。
- 13 競 技 形 式 (1)団体戦 予選リーグ、決勝トーナメント法(シード制を採用する。)
(2)個人戦 トーナメント法(シード制を採用する。)
- 14 競 技 方 法 (1)団体戦は、予選リーグ・決勝トーナメントとし、勝者数法によって勝敗決する。
①予選リーグの場合は、3分3本勝負・延長なし、勝敗が決しないときは引き分けとする。
②リーグ内の順位のつけ方は勝ち点が1点、引き分けが0、5点、負けは0点とし、チームの得点・勝者数・得本数の順で順位を決定する。
なお、両チームの成績が同じ場合は、任意の代表者による代表決定戦を行う。
③決勝トーナメントは、3分3本勝負・延長は2分1回を行い、勝敗が決しないときは、引き分けとする。但し、チームの勝敗が決したあとの延長は行わない。両チームの成績が勝者数・得本数ともに同じ場合は、任意の代表者による代表決定戦を行う。
④代表決定戦は3分1本勝負、延長は時間を区切らず勝敗の決するまで行う。
(2)個人戦の試合はトーナメント方式によって行ない、3分3本勝負、延長は時間を区切らず勝敗の決するまで行う。
- 15 競 技 規 則 全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則、同細則」及び九州大会申し合わせ事項に準じ、本大会要項によって行う。
- 16 組 合 せ 本部(専門部)抽選とする。 6月22日(木) 15:30
- 17 表 彰 (1)団体および個人とも第1位～第3位まで表彰する。
(2)団体第1位・第2位チームの全選手に賞状を授与する。
- 18 九州・全国大会の代表について (1)男女団体第1位・第2位、個人第1位～第3位(2名)までの者には九州中学校体育大会への出場資格を与える。
(2)男女団体第1位、男女個人第1位・第2位の者には全国中学校剣道大会への出場資格を与える。
- 19 そ の 他 (1)竹 刀
①長さは男女とも114cm以下とする。
②重さは男子(440グラム)・女子(400グラム)以上とする。
③剣先の太さは、男子25mm・女子24mm以上とする。
④先革の長さは50mm以上とする。
⑤カーボン竹刀の使用を認める。
⑥竹刀の検量を行う。
⑦中結の位置、剣先から全長の1/4とする。
(2)名 札
学校名、氏名をはっきり書くこと。
(3)面 ひ も
①結び目より40cm以内とする。(長い場合は切る)
②面ひもの色は赤色系禁止する。(タスキとの関連)
(4)面の乳革の色は、黒か紺の無地とする。
(5)ブラック面の使用は禁止とする。
(6)参加校は紅白の目印(タスキ)各8枚を準備する。
(7)竹刀計量
①計量開始時間は、開館と同時に設定する。
(8)練習について
①練習は、7:30～8:15とする。
(9)県中体連では別紙「個人情報保護方針」に基づき、県中体連が保有する情報の適正な管理と保護に努めます。
(10)開始式(1日目)については、団体戦のみ出場する学校は参加しなくてもよい。1日目の競技終了後、練習時間を1時間程度設ける。
※団体戦のみ出場する学校も練習可。